

町内会館の使用休止

粟田だより586号(3月号)より

横須賀市内のコロナ感染者が大きく増加して、400人を超える感染者が確認されました。その中でデルタ株での一時期の感染者数減少により感染対策に気の緩みが観られる中、町内会館利用者も寒さ対策が優先され室内換気が疎かにされている利用団体も散見されたことから、現状を見据え感染が拡大している今、会館利用継続の可否を判断するため1月30日に同好会を主体とした説明会を実施しました。その結果、1月30日以降の会館使用を市内感染者の減少や利用団体の感染対策が最優先とされる時期まで、会館の使用を休止しました。

町内会館での感染拡大は、会館を利用する高齢者や働く世代などが自宅待機や隔離等により、日常生活に大きな制限を受けることとなります。「自分は感染していない」、「自分は感染しない」との思いがあるのか、各団体が自発的に決めた感染対策も不十分であることから感染力の強いオミクロン株への対応として、やむを得ず会館の使用を一時休止することとしました。

一方、町内会の運営に関わる役員活動は、町内会のエッセンシャルワーカーとしての位置付けから会館の使用は欠かせないことで、役員会は不便ではあるもののモニター画面を使い1階と2階に分散し、感染対策を十分に執った上で会館の使用を継続しています。また、各団体も含めその他会議等も夫々の組織運営上必要なこととして使用を認めています。

この「粟田だより」が発行される頃には感染者が減少し、感染対策の徹底により会館の使用が再開されていることを願っています。

(町内会)